

## 全国遺跡報告総覧説明会の開催

2017年9月から2018年2月にかけて、報告書データベース作成に関する説明会を全国5ヵ所で開催しました。報告書電子化及び全国遺跡報告総覧(以下、遺跡総覧)への登録に関する実務を説明し、発掘調査報告書の一層の活用促進をはかることにより、埋蔵文化財の普及公開に資することを目的として実施しました。説明会は、主催を奈良文化財研究所、共催に全国遺跡報告総覧プロジェクト・島根大学・東北大学・岡山県古代吉備文化財センター・岡山大学、後援に文化庁・全国埋蔵文化財法人連絡協議会・全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会・福岡市という枠組みで、各機関から支援を賜りました。

各回の説明会では、文化庁文化財部記念物課の調査官による基調講演にて、報告書のデジタル対応についての動向が述べられました。続いて遺跡総覧の事務局からの案内として遺跡総覧の機能解説と今後の可能性、データ登録の実務的な説明をしました。そして既にデータ登録を推進している機関から事例報告をおこない、最後の質疑応答では、事前に会場から回収した質問票を整理しながら、各講師が回答し、疑問点の解消がはかられました。

説明会の参加者は、文化財行政関係者を中心に5回で合計241名の参加がありました。参加者からは「著作権について理解が深まった」「印刷物と低精度PDFの位置付けが理解できた」「報告書の公開方法等今後の参考になった」との感想をいただきました。予稿集をWEB公開していますので、ぜひご覧ください。

(企画調整部 高田 祐一)

全国遺跡報告総覧(<http://sitereports.nabunken.go.jp>)



報告書データベース作成に関する説明会(東北大学)